

むつみだより

平成 31 年 2 月号 No.234

母子生活支援施設
仙台むつみ荘



2 月の予定

- 子ども会 -
- ・ 節分
- ・ バレンタインクッキング
- 日程未定 -
- ・ 避難訓練



ひよこだより

今年に入り何度か雪は降るものの、あまり積もらず、積もってもすぐに溶けてしまい…子ども達の「雪で遊びたい！」という気持ちを汲み取っていません。そこで、部屋の中でも沢山楽しめるよう、ひよこ組では“仮面ライダーベルト”を作ってライダーになったり、髪を結んで飾りをつけて“プリキュア”になりきったり、豆まき会に向けて保育士が鬼の面をかぶると、時には笑って、時には泣いて、時には立ち向かったり逃げたり…と、ひとり一人の興味や季節感を大切にしています。

このむつみだより2月号が出来る頃には、むつみ荘での豆まき会も行われているはずです…次号、「本物の鬼と対面した子ども達の姿！」をお楽しみに♪



2月4日は立春ですね。暦の上ではもう春ですが、まだまだ厳しい寒さが続いています。体調を崩されてはいませんか？インフルエンザや胃腸炎の流行はまだ終わらないようです。手洗い、うがいなどの予防は忘れずに…。

2月と言えば節分ですが、実は“節分”と呼ばれる日が2月3日の他にもあるのをご存知ですか？元々“節分”というのは、季節の変わり目である立春、立夏、立秋、立冬の前日を指す言葉でした。その日を境に季節を分けていたので“節分”と言っていたのだそうです。2月3日に豆まきをするようになったのも、春は新しい年の始まりであり、季節の変わり目には邪気(病気を引き起こす悪い気)が生じると言われていたため、“悪い気=鬼”が嫌いな豆をまいて厄払いをするのが始まりだったと言われています。

むつみ荘でも、毎年子ども達と一緒に豆まきを行い、子ども達のパワーで悪い気を追い払っていますよ！！



スケート教室



1月26日(土)に子供会で「冬季レクリエーション」のスケート教室に出かけてきました。今年は積雪量が少なく天候に恵まれたと思いきや、前日の夜中に雪が降り積もり、朝窓を開けると「雪景色」が広がっていました。(噂ですが、職員で雨男さんがいるみたいです)出発時間になると楽しみと緊張する様子が伺える中ジャンボタクシーの乗りこみ、スケート場に向かいました。今回スケート靴を初めて履く子もいれば、1年ぶりに履く子もいたのですが氷上に上がった時は皆、必死にリンクの壁にしがみついていた。

しかし、しばらくすると感を取り戻したりした子たちは一人でスイスイ滑り、初めての子どもたちも「転んでは起き」を何度も繰り返している内に時間はあっという間に過ぎ午前の部は終了。昼食にはカツカレーを食べて力を回復させ、いざ午後の部へ突入！

午後は、スケート用の押ししてもらって滑る椅子を借り、各々交代をしながら「座ったり・押したり」を繰り返していましたが、スピードを求める子ども達は最終的に職員に「押しで」と頼み込んでいました。

今回、子ども達の「転んでは起き」と何度も挑戦する姿を見て、大人も「負けていけない」「見習わないといけない」と思った時間でもありました

“かふえむつみ” 限定オープン



1月20日、毎年恒例の“かふえむつみ”がオープン!!
9名のお母さん方に来店していただき、甘いチョコレートケーキとアイスのセットと温かい飲み物と共に、ゆったりとした時間が流れていました。
会話を楽しむ方、静かに雑誌を見て時間を過ごしている方とそれぞれのペースでリフレッシュできたのではないのでしょうか。
むつみ荘で共に生活していても、中々会う機会やお喋りできる時間は少ない物です。中には「初めまして」から会話が始まり、世間話や子どもの事などなど、同じ子育て世代ならではの楽しみを、貴重な時間になったようでした。

その頃、子どもたちは…保育室に集まり、ままごとにブロックと賑やかな時間を過ごしました。

次回の開店を、お楽しみに！

